

※第		号	
産 休 等 代 替 職 員 任 用 承 認 申 請 書			
産 職 休 等 員	(ふりがな) 氏 名	とうきょう はなこ 東京 花子	平成○年○月○日生○歳
	出 産 予 定 日 (病休開始日)	令和8年10月1日	職 種 介護職員
産 休 等 代 替 職 員	(ふりがな) 氏 名	とうきょう たろう 東京 太郎	平成●年●月●日生●歳
	住 所	東京都新宿区西新宿2-8-1	
	任用する職種	介護職員	資 格 取 得 日 令和2年3月31日
	職 種 の 有 無	資格がある	資格がない
	任用予定期間	1 産休の場合(単胎妊娠・多胎妊娠) 産前の休業を始める日から起算して16週間 自令和8年8月18日 至令和8年12月7日 112日間  2 病休の場合 休業を始めて30日(休業等を含む。)を 経過した日から起算して 日間 自 年 月 日 至 年 月 日	
産休、病休が年度をまたぐ場合には、それぞれの年度ごとに申請が必要になります。			
ただし、この期間内において産休等職員の雇用関係がなくなったとき、又は産休等職員が勤務を開始したときは、その前日までの期間			
上記のとおり就業することを承諾します。 令和8年8月1日 氏名 東京 太郎			
申請日の属する月の初めの施設の状況	定 員	措置人員等 (うち3歳未満児数)	計
	100人	80人	人
申請時の入所者数	地域区分	職 種	介護職員
	特別区 特甲地 甲地、乙地、丙地	現 員 (うち女子の数)	看護職員 (10人) (5人)
介護職員、看護職員のみでの記入で問題ありません。			
上記のとおり産休等代替職員の任用について承認申請をします。 令和8年8月5日 東京都福祉局長 殿 所在地 東京都新宿区西新宿○-△-□ 施設種別及び施設名 軽費老人ホーム ○○○○ 施設設置者 社会福祉法人●●●● 理事長 支援 一郎			

承認却下通知	審査
年 月 日	適 (理由)
通知書第	号 否

- (注) 1 字は楷書ではっきり書いてください。※印の欄には記入する必要がありません。
- 2 任用予定期間の欄の1の( )内の該当する事項を○で囲んでください。
- 3 この申請書には産休等職員の出産予定日の記載のある妊娠証明書又は医師の診断書を添付してください。  
多胎妊娠の場合は、その旨明記してもらってください。
- なお、産休等代替職員が無資格者であるときは、有資格者が得られない理由、本人の履歴書を詳細に記した書面を添付してください。
- 4 産休等代替職員の健康診断書を添付してください。

(第3号様式)

産休等代替職員費請求書				承認さ	②	③	左の期間中施設 に勤務した日数	金額	請求金額	備考				
令和●年●月●日第△△△号で任用の承認のありました産休等代替職員賃金等 (の令和8年8~9月分を、その任用期間が経過しましたので)次のとおり請求します。 申請後、東京都からお送りする任用承認通知書にある日付と番号を御記入ください。 令和9年3月20日 東京都福祉局長				産休の場合	(a) <sup>1</sup>	(a) <sup>2</sup>	(a) <sup>3</sup>	全日	65日	全日	9,810円	全日	637,650円	
所在地 東京都新宿区西新宿○-△-□ 施設種別及び施設名 軽費老人ホーム ○○○○ 施設設置者 社会福祉法人 ●●●● 長之印 理事 支援 一郎 請求金額 681,840円				産前の休業を始める日から起算して	自 8年8月 18日 至 8年12月 7日 112日間 (単胎妊娠 多胎妊娠)	自 8年8月 18日 至 8年12月 7日	自 8年8月 18日 至 8年12月 7日	全日	65日	全日	9,810円	全日	637,650円	
産代 替氏名 (ふりがな) とうきょう たろう 東京 太郎 (平成●年●月●日●歳) 職 種 介護職員 性別 男 女 住 所 東京都新宿区西新宿2-8-1				産休の場合	(a) <sup>1</sup>	(a) <sup>2</sup>	(a) <sup>3</sup>	全日	日	全日	円	全日	円	
産職 (ふりがな) とうきょう はなこ 東京 花子 (平成○年○月○日○歳) 職 種 (病休の場合) 傷 病 名 性 別 男 女 出 産 日 令和8年10月1日 (産休・病休開始日) 出 産 日 令和8年10月7日				自令和8	自 年 月 日 至 年 月 日	自 年 月 日 至 年 月 日	自 年 月 日 至 年 月 日	全日	日	全日	円	全日	円	
等員 (ふりがな) とうきょう はなこ 東京 花子 (平成○年○月○日○歳) 職 種 (病休の場合) 傷 病 名 性 別 男 女 出 産 日 令和8年10月1日 (産休・病休開始日) 出 産 日 令和8年10月7日				自 年 月 日 至 年 月 日	自 年 月 日 至 年 月 日	自 年 月 日 至 年 月 日	全日	日	全日	円	全日	円		
※經由区市町村 区市町村名 受 理 進 達 受 理 支 払 年 月 日 年 月 日 年 月 日 年 月 日				例年、10月1日に補助基準額の改定があります。基準額の変更が生じた場合には、請求書を2枚に分けて提出する必要がありますので、御注意ください。										

- この請求書には、産休等職員及び産休等代替職員に対し、給与等を支払ったことを証する書類及び出勤簿の写しを添付(産休等代替職員に対し賃金未払いのときは支出後提出)すること。なお、施設が支出した額と実施主体の長発行の承認通知書記載の賃金額を日々比較して、いずれか低い方の額を合算した額により請求し、精算すること。
- (1) 産休の場合  
この請求書の③の欄の(a)<sup>3</sup>の年月日は(a)<sup>1</sup>と(a)<sup>2</sup>の月と比較して最も出産日に近い日を、(b)<sup>3</sup>の年月日は(b)<sup>1</sup>と(b)<sup>2</sup>の日を比較して最も出産日に近い日をそれぞれ記入すること。
- (2) 病休の場合  
この請求書の③の欄の(a)<sup>3</sup>の年月日は(a)<sup>1</sup>と(a)<sup>2</sup>の日を比較していずれか後の日を、(b)<sup>3</sup>の年月日は(b)<sup>1</sup>と(b)<sup>2</sup>の日を比較していずれか前の日をそれぞれ記入すること。

(第4号様式)

産休等代替職員任用調書 (施設名 軽費老人ホーム ○○○○)

産休等職員	(ふりがな) 氏名	とうきょう はなこ 東京 花子	職名	職種	介護職員	資格 取得年月日	
	生年月日	平成○年○月○日生 ○○ 歳	傷病名 出産予定年月日 (病休開始日)	令和8年10月1日			
産休等代替職員	(ふりがな) 氏名	とうきょう たろう (男) 東京 太郎	資格	資格の名称	介護福祉士 令和2年3月31日		
	生年月日	平成●年●月●日生 ●● 歳	従事した職種	介護職員	任用した期間の全日数(休日も含む)を記入してください。		
	任用した期間	自 令和8年8月18日 至 令和8年12月7日 16週間 (112日間)					
	賃金 日額単価 半日単価	10,000 円 5,000 円	就業日数	全日 65日 半日 9日	受領金額	695,000円	
上記のとおり就業したことを申し立てます 令和9年3月20日			施設が実際に代替職員に支払った賃金の単価を記入してください。				
経費等	施設種別	軽費老人ホーム	施設名	都(私)立 軽費老人ホーム○○○○ 区			
	賃金単価 日額 半日	9,810 円 4,910 円	就業日数	全日 半日	65 9	支給総額	681,840円

上記のとおり産休等

東京都の単価と施設が実際に支払った単価を比較して、低い金額を記入してください。

全ての合計額を記入してください。

第 号

令和8年3月20日

東京都福祉局長 殿

施設設置者 社会福祉法人●●●●  
理事長 支援 一郎